



東広島市史編さんだより

第5号 令和7(2025)年3月1日



(個人所蔵)

上は市内のお宅から見つかった98年前の写真です。全員洋装でポーチに座り、膝に^{はぎわらしきけいびんぶん かてあみき}萩原式軽便文化手編器を載せています。写真の下部分には右から左へ「加州ソーテル萩原式編物講習会 一九二七年六月十九日」と書かれています。「加州」とはカリフォルニア州を指します。この写真は昭和2年(1927)にアメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス^{さつえい}のソウテル(Sawtelle)で撮影されたもので、写っているのは日本からアメリカへ移民した方々と考えられます。

日本では明治中期から国策として移民が進められており、広島県からも多くの方々が移民として海を渡っています。最初は主に出稼ぎを目的としていた移民が多く、特に明治18～27年(1885～1894)には全国の中で広島県からハワイへの移民が一番多くなっていました。

アメリカ本土でも農業や大陸横断鉄道建設などに安価な労働力を必要としていたため、当初は日本からの移民が受け入れられていました。

この写真は移民した一家が後に日本へ帰国したため、志和町で見つかりました。志和町には大正11年(1922)に建てられた時報塔^{じほうとう}(登録有形文化財)がありますが、そこに設置されている鐘は志和堀村からアメリカのサクラメント近郊に移住した15名の方々から寄贈^{きそう}されています。

この写真は同じ頃の移民の方々のアメリカでの暮らしぶりを伝える資料と言えます。

1 集めた資料はどうなるの？

皆様^{みなさま}のご理解とご協力を得て、東広島市に関する新発見の資料が集まりつつあります。そこで、今回は皆様から寄せられた資料がどのような手順で整理されているのか紹介^{しょうかい}します。

1 資料を預かる



連絡^{れんらく}をいただいて現地で資料を受け取ったり、実物を持ち込まれたりするなどして、資料を預かります。受け取る際には出来るだけ出所や由来についてお話を伺^{うかが}い、資料についての情報を集めます。保管されている様子や調査^{ちようさ}状況^{じようきよう}は撮影^{さつえい}・記録しておきます。多い時には一度にトラックが一杯になる位預かります。東広島では近世末～現代のものがみついています。

お預かりした資料は他のものと区別するため、「〇〇文書」と名前を付けて保管します。

2 クリーニング作業

預けられた資料は長い間蔵や物置で保存されていたため、ホコリなどの汚れが付着^{よご}していることが多くあります。そのまま扱^{あつか}うと資料を傷めたり、体調不良を起こす原因ともなりますので、クリーニング作業を行います。換気を良くして刷毛で表面に付いたホコ리를払い、資料の状態も確認していきます。

3 整理

目録作成 お預かりしたものの内にどのような資料があるのか明らかにし、市史に使用出来るようにするため目録を作成します。資料1点ずつに番号を付け、執筆^{しつぴつ}者が目録にある資料を見たい時に資料名と番号から見つけることが出来るようにします。資料名のほかに作成年月日、形態、差出^{あてな}、宛名、内容など資料からわかる情報を出来るだけ目録に記入していきます。

撮 影 基本的に資料を1点ずつ撮影^{さつえい}します。

収納・保管 目録に記入し終わった資料は番号^ふを振った中性紙封筒^{ちゆうせいしふうとう}に入れ、整理箱に納めます。市史の執筆者は目録に目を通し、東広島市の歴史に関わる資料について調査を行います。

報 告 目録が出来上がった後、資料をご提供^{ごていき}いただいている方へどのようなものがあったのか報告を行います。



このようにして集められ、整理された資料が実際に市史編さんに活用されています。各ご家庭で保存されていたモノから東広島市の新たな事実が見つかっています。

市史編さん室では引き続き資料の収集に努めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

移民について

表紙で紹介した移民について、もう少しお話します。

日本で最初の集団での海外移民が行われたのは明治元年（1868年）のハワイへの移民とされています。明治中期～後期は「移民」と言っても3年間の契約の出稼ぎを目的とした移民が多かったのですが、明治末からは渡った地域に定住する人々が増えていきました。また、渡航先もアメリカ本土やカナダ、ブラジル、朝鮮、中国、台湾などへ広がっていきました。

広島からアメリカ本土への移民は明治23年（1890）より本格化しており、最初はカリフォルニア州のサンフランシスコが拠点となっていました。日本からの移民は農場や鉄道敷設の労働力として受け入れられていましたが、移民の激増や日露戦争が要因となり日本人の排斥運動が起こるようになりました。日本人移民は家屋の衛生向上を行ったり、夕涼みや女性が帽子をかぶらないなどの日本らしい風俗を控え、安息日（日曜日）にはピクニックをするなど当時のアメリカの文化になじむよう努めていました。

そのなかで、移民受け入れを制限する1924年移民法（ジョンソン＝リード法）や、1929年からの世界大恐慌の影響で多くの移民が日本へ帰国しましたが、アメリカに残った人々は、さらに現地社会への適応を進めました。

昭和16年（1941）12月7日（日本時間では8日）の真珠湾攻撃により太平洋戦争が始まると、西海岸沿岸4州と、アリゾナ州の一部を軍事地域と定め、日本人及び日系人の退去が命じられました。退去させられた人々は全米10ヵ所にある収容所へ入れられ、日系2世達はアメリカへの忠誠心を示すためアメリカ軍へ志願し戦地へ赴いて行きました。

終戦間近になると強制収容の正当性が問われるようになり、昭和20年（1945）半ばには収容所の業務が終了しました。

表紙写真が撮られた昭和2年（1927）の広島県からアメリカ本土への渡航者数は483人で、移民が盛んであった明治32年（1899）の1,127人と比較すると移民は減少しつつありました。



航海のためのトランク

2

市史の資料を集めています

資料を求める呼びかけに応じて貴重な資料の提供をいただいております。ご協力^{いた}頂いている皆様に感謝申し上げます。

市史編さん室ではまちの歴史や東広島市らしさを語ってくれる次のような資料を引き続き探しています。

- 古い書物や手紙、日記
- 昔の行事のチラシや新聞記事
- 東広島市域で撮影された風景写真や家族写真
- 古い絵葉書
- 古い町並みなどを記した地図や絵図
- 和紙に^{すみ}墨で書かれた書状や帳面

このような資料があるときは、ぜひこちらへご連絡ください。皆様の情報提供をお待ちしています。

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
東広島市教育委員会
生涯学習部文化課 市史編さん室
TEL：082-420-0977 FAX：082-422-6531



事務局通信

昨年の暮れには、マイコプラズマ肺炎^{はいえん}や新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症^{かんせんしょう}が流行していましたが、皆様無事にお過ごしでしょうか。時代を問わず感染症の流行は起こっておりますが、昔は感染症でなくても脚気^{かっけ}などの病が命に関わっていました。そのためもあって近世や近代の書簡の挨拶文には相手の健康を気遣い、自分の無事を伝える文面が良く見受けられます。「貴殿益々御健勝奉存候、目出度候、当方無事ニ而可心安候」のような文章には、二度と会えないかもしれない遠くの相手を思い^{たが}互いの無事を祈る^{いの}気持ちが表れているように思います。



今年は寒い日が多かったですね

東広島市史編さんだよりー第5号ー

発行日 令和7（2025）年3月1日
編集・発行 東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 市史編さん室
〒739-8601東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0977 FAX: 082-422-6531
E-mail: hgh200977@city.higashihiroshima.lg.jp
印刷 一般社団法人東広島自立支援センターあゆみ